

TOEIC テスト 究極のゼミ合宿  
其の十七

特別編

# 至高への挑戦

2017 年 10 月 7 日～9 日  
神奈川県三浦郡葉山町

濱崎潤之輔 & ヒロ前田

# もう、うんざりです。

Mou, unzari desu.

「同じ模試を何度も繰り返すといいて聞いたので、やっているんですが、何度もやっていると答えを覚えてしまうんです。それでも、やっぱり効果あるんでしょうか？」

一体、これまでに何回この質問を受けてきたでしょう。10回や20回ではありません。もっと多いです。この質問をする人には、いくつかの共通点があるようです。

【前提1】正解を覚えることは悪いことだと思っている。

ですね。良いことだと思っていたら、きっとそのような質問をしないはずです。

【前提2】それ以前に、正解を覚えてしまっていると思い込んでいる。

覚えているのであれば、200問中200問を即答できるのですね。100歩譲って、即答はできないとしても、正答はできるのですね。本当に覚えているんですか。

【前提3】正解を知らない状態で「問題を解く」ことがスコアを上げている。

まだ、こんな勘違いをしている人がいるようです。正解を導くという行為は、結果を知るために必要な作業。体力測定みたいなものです。「解く」ことで時間に対する感覚が磨かれることはあるでしょうが、スコアを上げる実力が養われると期待するのはバカげています。

ほかにも共通点らしきことはありますが、話を先に進めます。

個人的には、「これこれという方法は効果があるのか？」といった質問をしている時点で、もうアカン、と思っています。きちんと成果を出す人は、そういう性質の質問はしないものです。

勉強法を探すための質問を繰り返している人は、ろくな結果を出さない。この推測は、高確率で当たっているはずです。で、この書類は合宿の案内なので、合宿の話します。

# 参加資格＝次の 4 つ全部を満たすことです。

## ①TOEIC の最新保有スコアが 500 点以上、990 点以下であること&スコア UP への欲を持っていること

取得時期は問いません。公開テストであれ IP テストであれ、あなたが申し込む時点で保有する最新スコアが基準です。いつ実施されたテストなのかは関係ありません。

## ②模試を活用するトレーニングを受ける意欲があること

スコアだけでなく英語力を伸ばしたいと思っていることは必須です。ですから、「英語力とスコアを激しく伸ばす練習なんかより、スコアだけを上げる練習だけやりたい」と本気で思っている人は参加できません。

## ③音声再生機を持ってこられること

合宿開催前に、今回の指定教材の音声を PC やスマホにダウンロードし、それらを保存した**再生機器**を合宿会場に持ってきていただきます。**イヤホン**も必要です。再生機は自由です。スマホでも IC レコーダーでも WALKMAN でも iPod でも大丈夫です。録音機器は不要です。過去の合宿でも、このように再生機器を持ってきていただいたことが何度もありました。重要な持ち物なので、絶対に忘れないでください。



## ④合宿で体験する&目撃することを誰にも言わないこと

後で書くように、今回の合宿は、ある 1 点において過去とは全く違います。その 1 点に限らず、とにかく合宿で目にすること、耳にすることを他人に口外しないことが参加条件です。この条件は、10 月 31 日 24 時まで有効です。

次のページへ進みなさい

## 以前、「究極のゼミ合宿」に参加した方のご感想

原吉徳さん（会社員） 授業で教えていただいたことを、その後の問題演習を通じてすぐに実践し身につける、ということが合宿では可能です。もちろん教えていただいたことは、TOEICを受験するに際して本当に役に立つことばかりでした。個人的に特に良かったと思うのが Part 3 の解き方です。おかげで Part 3 は覚醒した感があり、それに引きずられるように Part 4 もできるようになりました。

マドロスさん（会社員） 前回のリスニング集中形式ですが、先生の意図・目的が大変明確であったこと、講義での音読方法のやり方のご指導から、まだまだ自分の音読は甘いなあと痛感したことなど、色々な気づきがありました。さらに、合宿に参加されている皆さんがもの凄く真剣で意識が高いので、これも大変刺激になりました。

村上さん（会社員） 何故だかよく解りませんが、合宿参加後、勉強を毎日しないとられなくなっていました。意識的に自分を変えようとは思っていませんでしたが、結果的に変わってしまいました。現時点ではスコアが上がっていない人も居ると思いますが、「楽しかった・面白かった」と全員が感じていると思います。これは凄いことだと思います。

Kyoko さん（会社員）

### 【合宿前の不安→実際の合宿】

- ・講師がスパルタで怖かったらどうしよう。。。→ むしろ優しかった。終始楽しかった。
- ・授業についていけるかなあ。。。→ 内容がわからないということも、簡単すぎてつまらないということもなかった。途中で質問を何度も受け付けてくれたし、後から休憩時間に質問することもできるいい環境だった。
- ・他の参加者の雰囲気は？？→ TOEIC900 点を目指しているくらいのレベルが多かったのかなと思った。900 以上の方もいらっしゃいました。泊まり込みということもあるからか、TOEIC に関して意識の高い人が多かった。年齢層はバラバラでしたが、感じの良い方ばかりだった。

### 【合宿の良かった所】

- ・リスニングは勉強方法がわからなかったけど、やるべきことがわかった。
- ・一生懸命に勉強している他の参加者の存在が励みになった。
- ・TOEIC の勉強は楽しいなあと初めて思った。
- ・二泊三日全く飽きずに集中できた自分にびっくりした。

### 【合宿で不満だった所】

- ・特にありませんでした。

どうも。前田です。この秋に「究極のゼミ合宿」は第 17 回を迎えます。9 月の神戸開催と 10 月の神奈川開催の内容は同じです。両方とも、2 泊 3 日、6 食つきの濃い合宿です。ひたすら勉強する。そんな合宿です、いつも通り。

## 「其の十六」と「其の十七」はプレミアム

「其の十六」と「其の十七」は過去の 15 回の合宿と比べて、大きく違う点があります。今から説明します。

今回は「英語との接し方を見直していただく機会」になるでしょう。そうなるようにするつもりです。あなたは知っているでしょうか。2016 年 5 月以降の公開テストには、マトモな問題がたくさん出題されています。

- ・ちゃんと英語を聴いて理解した人はスイスイ解ける問題
- ・ちゃんと英語を読んで理解した人はスイスイ解ける問題

当たり前ですが、マトモに英語力を磨いている人が得するようにテストは作られています。例えば、意図問題やトリプルパッセージは、英語力を磨くトレーニングを多くやっている人にとっては、かなり解きやすいのが現実です。別に、全 200 問を正答するのが簡単だと言いたいわけではありません。いろいろな理由でミスは起きるものです。ここで言いたいのは、ちゃんと実力を高めるために、それなりの勉強法を採用してくださいということです。

## 結果を出す人と出さない人

大きい結果を出す人と出さない人がいます。出さない人は・・・

教材が悪いか、  
勉強法が悪いか、  
頭が悪い

といった可能性が考えられます。最近、「教材が悪い」はマレです。また、今この案内文を読んでいる人は頭が悪いはずがないです。ですから、あなたが望む結果を手に入れていないのであれば、勉強法が悪いことを疑ってください。では、勉強法とは何か？

例えば、さっき話したように模試をどう活用するかです。素材をどうトレーニングに利用するか。それ以前にトレーニングをしてるのか。どれくらいの「広さ」と「深さ」でやってるのか。英語比率がどうなっているか。デカイ結果を出す人は、これらの観点で適切な判断を下し行動しているものですが、大した結果を出さない人は全然違うところを見ているものです。

次のページへ進みなさい



ま、そういったことを考えた結果、今回の合宿では、あなたがデカイ結果を出す人になるために必要なことを提供します。「模試を繰り返しやると正解を覚えてしまうんですけど、この方法で効果があるんですか？」という質問を二度としない体質にしてみせます。そのために、濱崎さんとボクはできることを全てやります。さらに・・・

## 教官 X

3人目の教官がいます。仮に、X（エックス）と呼ぶことにします。経歴も名前も書けませんが、Xはこれまでに数多くの高校生、大学生、そして社会人を教えて、いえ、しごいてきた人です。昨年、Xが某所で参加者をしごいている様子を見る機会がありましたが、その凄惨な光景に、思わず目を背けてしまいました。と言っても、Xはコワイ人ではありません。実力ほぼゼロの高校生や大学生に、英語や TOEIC をイチから教える仕事もしている人物です。つまり、顧客ニーズや状況に合わせた仕事をしっかり行う人です。

さらに重要なことに、実はXはプロ通訳者でもあります。これまでに、Xが通訳者として仕えた人物のリストを見せてもらったところ、予想通りアゴド〜ンでした。おそらく全世界で最も有名な政治家の家族や、日本人なら誰でも知っているスポーツ選手など、何人もの要人の通訳を務めています。合宿中、通訳技術を磨く練習はありませんが、英語力を飛躍させるトレーニングを実体験していただきます。もちろん、TOEIC 対策本を使いながら、Xから直接指導を受けることができます。

留学経験者でも帰国子女でもなくプロ通訳者に求められる英語力を獲得したXが実践していた、そして今でも実践している学習法を体験し、きちんと盗んでください。大事なので繰り返します。きちんと盗んでください。リスニングとかリーディングとか、先読みとかタイムマネジメントとか、細かいことは少し忘れ、英語との付き合い方を学んでください。

Xは2日間びっちり現場にいるわけではありませんが、ムッチャ濃くて、一生忘れることができないセッションを提供してくれます。ただ、繰り返しますが、参加資格④を忘れないでください。合宿で目にしたこと、耳にしたことを口外しないことが参加条件です。Xの正体やセッション内容は特に秘匿性の高い情報となります。

## 事前にやってはいけない理由

合宿では後で紹介する『至高の模試 600 問』の Test 3 を使います。あなたが事前に取り組んでいないことを前提としますので、ご注意ください。今回の合宿は「あなたが模試を解く」ことからスタートします。つまり、「同じ模試を繰り返す」とは、どのようにアプローチすることを意味するのかを知り、実践するのです。「模試を解く」「復習する」「トレーニングを積む」といった学習要素をそのままあなたが実践することになります。全員が平等に参加できるようにするために、Test 3 の予習を禁止します。

次のページへ進みなさい

## 終わってからがスタート

一応、言っておきます。本当に大切なのは合宿が終わってからです。合宿であれセミナーであれ、イベントは「きっかけ」でしかありません。成果を出すためのきっかけ。だから、ボクたちは、あなたが近い将来どんな結果を出すのか知りませんし、約束するつもりもありません。合宿後の、あなたの行動を決めるのはあなたです。ボクたちは、あなたが学んだことを実践し続ける人になることを願っています。

## ボクたち 2 名も教官です

濱崎さんとボクはこれまでに多くのセミナーをやってきました。その参加者の声を紹介しておきますので、興味があれば読んでみてください。かなり読みにくいと思いますが。

「HUMMER 講師の 1 問も落とさないように編み出したノウハウを余すところなく聞けてよかったです。」「前田先生、濱崎先生の本で紹介されていたとりくみ方を実際に目の当たりにして、より理解できたし、トレーニングして自分のものになんとかしたいと思いました。」「今自分がしていることに、不足しているのが何かわかり、よかったと思います。」「本文を確実に記憶できるほど読んだほうがいいと聞いてびっくりしました。これまでは、あせって読み飛ばしていたので考え違いをしていました。」「新形式だからといって決して恐れることは無いということも、今回のセミナーでわかりました。市販の問題集に載っていない、細かいテクニックも複数学べてよかったです。どうもありがとうございました。」「独学では限界があったので、今後セミナーで学んだことプラス自分の努力で目標スコアを目指します。」「今回復習のやり方をしっかり覚えたことは自分にとって財産になると思います。文章の読み方が甘すぎたと反省しています。今後、学習スタイルはがらりと変わると思います。」「TOEIC を研究しつくされている先生方の講義は、目からウロコと思えることが多かったです。」「今の課題は、「いかに英文を速く読むか」だが、英文を読む時間が少な



すぎることを改めて知り、これからのスケジュールの見直しが必要だと実感しました。トリプルパッセージの取り組み方が分からなかったのですが、濱崎先生の説明を受けて、自分のルールを決めて、ぜひ実践してきたいと思いました。いかに無駄な時間をかけていたか気づけました。」「読解力を上げていくためには、英文を自分の言葉で短く圧縮し、ストレスなく人に説明できるくらいまで精読できるようになる必要があることを学びました。」「解法を教わる中でも、大切なことは基礎学力なのだと再認識しました。特に、自分には語彙力がまだまだ不足していると思うので勉強したいと思います。問題の正解への導き方を学んだのが初めてだったので新しい発見がいっぱいありました。今後

自分で勉強すべきことが明確になったような気がしました。」「TOEIC の受験経験が浅く、かつ勉強のやり方がよく分からない中でセミナーに参加しました。」「TOEIC を離れて土台を作ることの必要性」「文章を読む上での着眼点」「TOEIC 受験時の心構え」をバランスよく学ぶことができてすごく良かったです。」「何となく解く→何となく答え合わせをする」をいつもしていたと痛感。」「設問の意図プロセスなど考えたことがなかった。」「選択肢の意図が明確になりました。初めてセミナーに参加しましたがモチベーション上がりました。」「トリプルパッセージを解く時の手順。教えていただいた通りにやったら、やりやすかった。読み方の手順を変えるだけで時間短縮ができそうなので、時間を測って検証したい。」「新形式の対策にぴったりのセミナーでした。レベルを問わず、すべての TOEIC 受験者にオススメです。」



「1つの素材（セット）に触れる量が、自分は圧倒的に少ないなあと改めて感じた。正解、不正解に関係なく、もっと濃く復習しないといけない、と気づいた。」「これまで公式問題集を中心に勉強していて、「解き方」を今回のセミナーほど意識して解くことがなかったので、本当に勉強になりました。セミナーを通して、文章の理解が深まるようになりました。文章の理

解を深める方法を学べたと実感しています。」「文脈を理解すること、そして、自分が本当に理解できていないことは何なのかを正しく理解することの重要性を学びました。テクニックではなく、英語を学ぶ上で本当に必要な要素が何かを気づけました。」「今までいかに間違った勉強方法をやっていたのかを教えてくださいました。」「今までの TOEIC を取り組んでいるときの無駄が大きく減り、TOEIC 学習に取り組むのがこれから楽しみで仕方ないぐらいになりました。」「Part 7 トリプルパッセージを解く手順をすっきり納得できた。」「昨年の“Starting Over”にも参加しました。その時には試験中の解き方などをご教授いただきました。昨年のセミナー後、教えていただいたことを自分なりにマイナーチェンジをし、新形式の 10 回を乗り切ることが出来ましたし、成果として 1 年で 200 点上がりました。一方で、今年の“GREAT VOYAGE”は、解き方だけではなく、例えばリスニングの一つの素材の使い方など、より普段の学習からできる tip を得ることができました。一言でいえば、昨年は「試験の形」を、今年は「試験の形+独学の方法」のセミナーですかね。」「新形式問題のカラクリとロジカルな解法に感銘を受けた。非常に高い分析をされていて、これまで TOEIC の問題は無味乾燥だと思っていた自分に色を与えてもらった気持ちだ。」「1 日目終了前の前田先生の「どういうタスクを自分に課すか」という言葉に打たれました。」「説明が具体的で非常にわかりやすかったです。また、説明を聞いて実際にその手順や気をつけるところを意識しながら解くことで、自分の体で覚えることができました。」「ヒアリング、パート 7 などで設問、本文、選択肢をどの順でチェックすることが時間節約になるかという即効性のアドバイスもわかりやすく、すぐに取り入れたいと思う。」「自分の英語への取り組みの中途半端さがよくわかりました。全て読むことの重要性がよくわかりました。文章を読み進む上での着眼点がわかり、読んでいる最中に頭の中で、散らばりにくくなりました。」「これまで「何となく」スコアが取れていたのですが、今回のセミナーで論理的な考え方、答え方を教えていただけてとても良い刺激になりました。ありがとうございました。」

次のページへ進みなさい



## こんな人々が参加することを想定します

ボクたちが想像している参加者は、こんな人々です。

1. TOEIC の受験や英語学習が好きな人
2. 「即効の 50 点アップ」より「1 年後の 300 点アップ」に価値を感じる人
3. 学習意欲の高い人たちと一緒に、次のステージを目指して歩み始めたい人
4. 継続的に学習するようになるためのきっかけが欲しい人
5. 精神を鍛えたい人
6. 行動至上主義の人間に生まれ変わりたい人
7. 己を律する力を高めたい人
8. facebook で偉人の言葉に「いいね！」をクリックするが、まったく行動しない人
9. TOEIC が好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
10. このリストを読むことに飽きた人

**約 30 時間、ヤル気度が高い人たちと一緒に、ただひたすらに英語漬け&TOEIC 漬けになりませんか。脳ミソが溶けようが鼻血が出ようが知ったことではありません。あなたの可能性を制限するリミッターを完全に外しましょう。**

タイムテーブルを大まかに作ってみました。だいたいこんな感じです。

Day-1	2017 年 10 月 7 日（土）	13:00~23:00（勉強だけ）
Day-2	2017 年 10 月 8 日（日）	7:30~23:00（ほぼ勉強だけ）
Day-3	2017 年 10 月 9 日（祝）	7:30~18:00（ほぼ勉強だけ）

演習、講義、質疑応答などの勉強時間が、たぶん 30 時間ほどあります。90 分×20 回分に相当するので、この合宿だけで大学の 1 学期分より多いですね。なお、初日が 23 時で終わるとは限りません。もう少し遅くまでやるかもしれません。フレキシブルな時間割も合宿のメリットです。ひたすら学び、日常とは違う体験をする。ひとりでは味わえない学びを味わう。一緒にやれるだけやってみましょう。

では、教材を紹介します。

次のページへ進みなさい

## 至高の模試

『TOEIC L&R テスト 至高の模試 600 問』（アルク／2,808 円）という本を使います。480 ページもある重たい本です。7 月下旬に発売されたので、書店でご購入の上、合宿現場にご持参ください。（Test 1 と Test 2 は合宿では使いません。Test 3 の予習は禁止です）



この本は 2016 年春に発売された『非公式問題集 至高の 400 問』の増補改訂版です。Test 1 と Test 2 の中身は旧版と同じですので、今回の合宿では扱いません。これは「其の十七」でも同じです。

なお、この本の中では、模試の「3 回チャレンジ法」が紹介されています。合宿は 2 泊 3 日なので、そのメソッドをそのまま実行することは不可能ですが、根本的な発想は同じです。つまり、1 つの素材をしっかりとマスターするためのアプローチをすることで、実力が大きく伸びるという考え方です。

この本の解説冊子は取り外すことができるので、今回の合宿では使わない Test 1 と Test 2 の解説冊子を事前に外しておいて OK です。Test 3 の音声再生機に入れて必ずご持参ください。

模試に取り組むだけなら合宿なんか不要でしょうが、単に「解く」ために合宿を開くわけではありません。講義や質疑応答、丁寧な復習、トレーニングの実践など、濃密な 3 日間となります。

参加費は 59,400 円（税込）です。この中に、宿泊（2 泊）＋食事（6 回）＋研修室（3 日）＋勉強時間（30 時間近く）が含まれます。教材は自己手配してください。計算すれば、お得な設定だと分かるでしょう。

## ロケーション



会場は葉山。別荘地として知られ、海岸沿いには著名人の自宅や別荘が多くある有名な場所です。交通は便利ではありませんが、勉強するにはもってこいの環境です。周辺には道路と空気、そして見えない富士山しかありません。これほど合宿に適した場所がほかにあるのでしょうか。いや、ない。（反語）

次のページへ進みなさい

すべてのセッションが研修室内で行われます。



「自由」を完全に失う覚悟をしてください。



神戸で使用する施設は、とても快適です。



ちなみにこの合宿の PV が YouTube にあります。現場の雰囲気を見ることができます。

→ <https://youtu.be/kTcSKxRkZSQ>

次のページに進みなさい



TOEIC テスト 究極のゼミ合宿

其の十七

# 至高への挑戦

Kanagawa, 1007-1009, 2017

特別編

日時：2017年10月7日（土）13時～9日（祝）18時 ＊初日の集合はJR 逗子駅に11:15

会場：神奈川県三浦郡葉山町（詳細は申込者にお伝えします）

定員：28名（多少前後する可能性あり／全員シングルルーム）

教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田、X

費用：参加費 59,400 円（税込／2泊6食付き／教材費を除く） ＊教材は「自己手配」となります

＊最終日は、京浜急行バスでJR 逗子駅に戻ります。（逗子駅に19時ごろ到着予定）

## ご注意ください

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**申込締切日は2017年9月27日（水）24時**ですが、その前に空席がなくなれば締め切られます。もし、空席があれば二次募集を行います。

入金方法（銀行振込のみ）はメールでお知らせします。入金後のキャンセルには**最大2万円の取消料**が発生するため、十分にご注意ください。「申し込みだけして、後でキャンセル」というケースがありますが、それが原因で、日程的には参加できるのに席がなく参加できない人が発生します。参加可能であることを確認してからお申し込みください。

## 申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の十七 至高への挑戦」への参加を希望される方は、下の専用フォームからお申し込みください。（完了後、自動でメールが送られ、ご入金方法が伝えられます）

お申込みはこちら

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S12538517/>

（スマートフォンからも申込可能ですが、**PCで読めるメールアドレス**をご登録ください）

次のページへ進みなさい

# 受講特典

利用すれば、これらは大きなメリットです。1つ目と2つ目には有効期限があります。ご注意ください。

## 質疑応答

合宿で使う本に収録されている練習問題について、質問してくだされば回答します。通常、3日以内に返事を差し上げています。質問には個別にメールで対応します。ただし、無期限で受け付けるわけにはいかないので、**2017年12月31日まで有効**とします。

## Xへの質問権

合宿終了後、英語学習に関する内容であれば、Xに質問することができます。1人1回に限りませんが、メールで質問を受け付けてくれる約束をいただきました。現役のプロ通訳者に英語学習について相談できるチャンスはこれが最後かもしれませんよ。ぜひ、この権利を行使してください。有効期限は**2017年12月31日**です。除夜の鐘が鳴ったら **expire** します。

## 「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権

facebookに、合宿参加者専用の交流スペースがあり、150名以上が利用しています。スコア報告をする人、学習記録を書く人、雑談を書く人、いろいろです。あくまでも「特典」ですから、利用は必須ではありません。facebookを使っていない場合は、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。



# 追伸

セミナーにはセミナーの良さがあります。合宿には合宿の良さがあります。合宿の良さは「密度の濃さ」です。

これは、1年前に濱崎さんが書いた言葉です。確かに、密度の濃さこそが合宿の良さだとボクも思います。今回、「其の十六」に続き、「其の十七」にも第三の教官が登場し、過去最高レベルの密度の合宿を提供できると確信しています。神戸だけでなく、神奈川でも最高のコンテンツを提供できるよう努力いたします。

会場で会えることを楽しみにしています。

ヒロ前田

次のページへ進みなさい



## 関連リンク

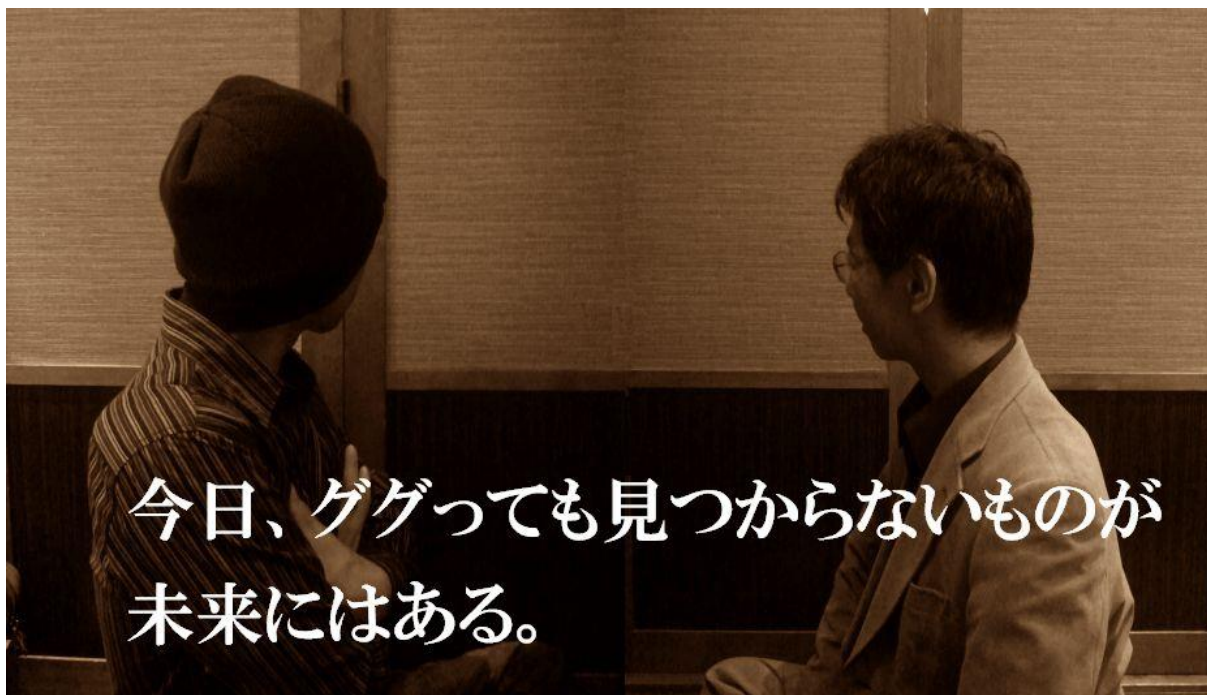
過去の参加者の声 [http://hiromaeda.info/zg/?page\\_id=157](http://hiromaeda.info/zg/?page_id=157)

1つの教材を徹底的に使って理解を深めるという復習の仕方を学ぶことで、英語に対する姿勢が変わった気がする。また、Facebookのグループで他の参加者がひたむきに頑張っている姿を見ることが、TOEICを卒業後も発奮できていることに感謝している。

(MMさん／自由業)

問い合わせフォーム <https://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P7053673>

(合宿に関することで申し込む前に確認したいことがあればコチラからどうぞ)



あなたの未来は、あなたが創る。

これで終わりです